

# 平成30年度 岐阜県博物館実習実施要項

## 1 実習の目的

博物館実習は、学芸員志望者が博物館における諸業務を体験・実習することにより、理論と実践の統一を図り、学芸員として必要な知識及び技術を習得することを目的とする。

- (1) 博物館全般にわたる理念を学び、認識を深める。
- (2) 学芸員としての自覚、使命感を学ぶ。
- (3) 学芸員として必要な専門的知識、技術を習得する。
- (4) 社会教育に携わる教育者としての基礎を学ぶ。

## 2 実習期間

平成30年7月24日（火）～7月28日（土）までの5日間

## 3 受入人数(定員)

30名

選択分野	人文分野	自然分野	教育普及分野
受入人数	10名	10名	10名

## 4 実習内容

### (1) 共通実習

- ①館長講話（実習の目的、心構えなど）
- ②学芸部長講話（岐阜県博物館の概要など）
- ③分野別講義（人文・自然・教育普及・マイミュージアムから各担当分野の仕事など）

### (2) 選択分野別実習

選択分野	実習内容
人文分野	歴史資料の収集と取り扱い、民俗資料の収集と取り扱い 美術品の収集と取り扱い、考古資料の収集と取り扱い、催し物体験
自然分野	植物標本整理・製作、動物資料整理、地学資料整理、催し物体験
教育普及分野	教育普及教材製作等、催し物体験

### (3) 実習の概略（変更の場合あり）

- (1日目) 共通実習  
(館長講話、学芸部長講話、分野別講義、展示室・特別展観覧、MMG観覧)
- (2日目) 共通実習（分野別講義、展示室観覧）  
選択分野別実習
- (3日目) 選択分野別実習
- (4日目) 選択分野別実習
- (5日目) 選択分野別実習

## 5 申込資格

岐阜県内の高校を卒業した者または岐阜県内の大学に在学中の者で、博物館実習科目以外の学芸員資格取得に必要な科目の単位を修得済みまたは本年度中に単位修得見込みのある大学生及び大学院生

## 6 受付

### (1) 受付期間

平成30年3月15日(木)～4月28日(土) 9:30～16:00(休館日を除く)

※定員になり次第締切

### (2) 受付方法

本人来館による受付(電話等による受付はしない)

※事前に受付状況を電話またはホームページで確認し、電話にて博物館担当者と来館日時等について調整した上で、来館すること

※あらかじめ申込書に必要事項を記入の上、持参すること

TEL 0575-28-3111(内線307) URL <http://www.gifu-kenpaku.jp/>

受付時に選択分野の登録も行う(大学での専攻内容を考慮した登録が望ましい)

### (3) 受付場所

岐阜県博物館学芸部

## 7 課題の提出等

### (1) 課題1「これからの博物館に求められること」※1600字以内(A4・1枚)

4月28日(土)提出締切(申込書と同時に提出するのが望ましい)

### (2) 課題2「岐阜県博物館への提言」1600字以内(A4・1枚)

※下表の博物館学芸講座及び講演会を1回以上聴講し、併せて当館の展示(特別展、常設展等)を見学した上で提言すること

【博物館学芸講座・講演会一覧(平成30年1月15日現在の予定・タイトルは仮題)】

4月28日(土)	博物館学芸講座「若手恐竜研究者、岐阜で恐竜を語る」
6月2日(土)	特別展講演会「和泉守兼定と土方歳三」
6月9日(土)	博物館学芸講座特別企画「美濃の刀工について」
6月23日(土)	博物館学芸講座特別企画「未定」
7月22日(日)	特別展講演会「標本バカの世界」

※上表にある博物館学芸講座及び講演会に申し込むこと

※申込はいずれも2カ月前から当館ホームページまたは電話で申し込むこと

※博物館学芸講座、講演会の開催日時・場所等詳細については、当館HPを適宜参照

※実習初日のオリエンテーション時に提出

## 8 受入承認の流れ

来館受付(4月28日まで) → 本人から大学に報告 → 大学から当館への依頼文書(82円切手を貼った返信用封筒同封)送付(5月上旬) → 当館から受入承認文書送付(5月末)

## 9 問い合わせ先

岐阜県博物館 学芸部教育普及係 博物館実習担当: 吉田 泰久

〒501-3941 岐阜県関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)

TEL: 0575-28-3111(内線307)

Email: [yoshida-yasuhisa@pref.gifu.lg.jp](mailto:yoshida-yasuhisa@pref.gifu.lg.jp)

※受付の際に入手した実習申込者の個人情報については、実習関係業務上必要な場合にのみこれを使用します。